

第1回苧田町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 平成29年12月4日(月)
開会 19:00 閉会 20:00
- 2 場 所 苧田町役場4階401会議室
- 3 出席者 苧田町長 遠田 孝一
苧田町教育委員会
教育委員長 井上 三津子
教育委員 石邊 節雄
教育委員 尾形 由起子
教育委員 塩田 弘樹
教育長 森田 耕治
事務局関係
教育総務課長 吉永 康彦
生涯学習課長 竹田 賢治
教育総務課次長 和才 輝俊
教育総務課次長 松本 比呂貴
生涯学習課副課長 松崎 昭博
教育総務課庶務担当係長 崎平 美加
生涯学習課公民館・図書館担当係長 村田 俊二
教育総務課学校教育担当 原永 望
- 4 協議・調整事項
(1) 苧田町教育大綱の確認について
(2) 平成30年度教育予算編成方針について
(3) その他

5 議事の概要

◇開会

崎平係長

それでは、ただいまから平成29年度第1回総合教育会議を始めさせていただきます。進行につきましては、事務局で行いたいと思います。

本日の進行を務めます教育総務課の崎平です。よろしくお願いいたします。

はじめに、傍聴者の方をお願いいたします。

(～傍聴者への注意事項～)

それでは、次第に戻りまして、はじめに遠田町長よりご挨拶をいたします。

◇あいさつ

遠田町長

皆さまこんばんは。11月13日より町長に就任しました遠田と申します。今日で就任して三週間になりました。教育のことを勉強して会議に臨もうと思い、今までの議事録を読んで参りました。今までの総合教育会議では教育に関する予算の話がでていたと認識しております。特に図書館のあり方、ALTの配置についての意見がありました。それから港まつりや盆踊りについては是非復活をするようにという意見がありました。また白川小学校と片島小学校で人数が少なくなっているという議論と給食センターの老朽化、温水プールの運営方法についてのご意見が教育委員の方からあったと認識しております。様々な課題がありますが、皆さんからご意見を伺って施策に反映できるものは是非反映していきたいと思っていますので、どうぞ宜しくお願いします。

崎平係長

次に教育委員会を代表いたしまして、井上委員長にご挨拶を頂きます。

井上委員長

皆さんこんばんは。12月に入りまして、師走と言うことで学校現場も大変忙しい時期を迎えております。また、かんだっ子教育の集いに向けて実行委員会でも慌しく動いております。その中で今日は遠田町長をお迎えして苧田町の教育施策についての意見交換がなされるということで、苧田町の教育の発展のために真摯に意見を交換できたらと思っています。

崎平係長

それでは、協議・調整事項に入りたいと思います。

◇協議・調整事項

崎平係長

協議・調整事項の（1）苧田町教育大綱の確認について、町長より提案いたします。

（1）苧田町教育大綱の確認について

遠田町長

ご案内のとおり、町の教育大綱につきましては、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」で、総合教育会議にて協議の上、地方公共団体の長が定めるものとなっています。現行の教育大綱は、前町長時代の平成27年7月に開催されました、第1回総合

教育会議で、当時の「第4次菟田町総合計画」、第1章「未来を拓く人づくり」を基本の政策とし、「学校教育の充実」及び「生涯学習の充実と文化の振興」を施策方針として、当町の大綱として定めたと同っております。私も、引き続き、別紙にお示しいたしました、平成28年に改定されました「第4次菟田町総合後期基本計画」、第1章「未来を拓く人づくり」を基本政策及び「学校教育の充実」・「生涯学習の充実と文化の振興」の施策方針をもって、町の教育大綱といたしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

崎平係長

只今の提案につきまして、ご質問ご意見等がございましたらお願い致します。

石邊委員

まず町の考えをお伺いした方が良いと思います。

遠田町長

前回と今回とで少し変わったところが、「学校教育の充実」のところ、「地域に根ざし世界に通じる国際人の育成」という項目が別のところに包含されています。それから「学校・家庭・地域の連携での推進」のところの「強いパートナーシップで結ばれた」という言葉が今回なくなっております。

崎平係長

それでは、これで大綱の確認が出来たということで、よろしいでしょうか。

続きまして、(2)平成30年度教育予算編成方針について、遠田町長よりお願いいたします。

(2)平成30年度教育予算編成方針について

遠田町長

予算については、今月中にヒアリングをして各部署からあがってくる予算で大枠を決めようというのが手順になっております。まだオーソライズされていないんですけども、私の中でこういったことをやりたいということをお話します。一つは学校教育で、もう一つは生涯学習という二つの柱になろうかと思っております。学校教育については、教育環境の整備ということで、特に小中学校のエアコンの整備です。財源との見合いで、普通教室から設置するなどの優先順位をつける方法や、エアコンのスペックが過大にならないようにすることなどの検討が必要だと思っております。それからもう一つは子ども達の通学路の安全対策ということで、もちろん交通安全もあろうかと思っておりますが、不審者対策があります。例えば防犯カメラをつけるとか街路灯のLED化を概ね10年でや

るんだということを聞いていましたけれども、もう少し早く出来ないか、例えば5年、あるいは1～2年で出来ないかということで前倒しにして、町の中を明るくすることが環境整備になると思います。

二番目の生涯学習については、公共施設が老朽化しているということにつきると思います。色んな施設があります。スポーツ施設、文化施設や中央公民館など各公民館が老朽化していると言われていています。教育施設についてはエアコンが壊れていて入らないということや雨漏りとか壁が落ちる心配があるということを知っています。そういう補修内容がどうなっているかという全体の数字をあげてもらうように指示を出しております。後は教育の現場に是非足を運んで、実態を掴んでいきたい。それから、議事録を読みますと、学校現場では先生方の若年齢層化による指導力の低下が議題となっております。実際学校へ行って、校長先生やその他の先生方のご意見を伺いたいと思います。予算とは違いますが、実態を掴むような取り組みをして参りたいと思います。以上です。

崎平係長

只今の方針について、委員の皆様より、ご質問・ご意見等がございましたらお願い致します。

塩田委員

町長のお話を聞いて、教育環境の整備ということで、エアコンがないということは他の市町村と比べて、究極的には苧田に住むのをやめようかという話になるかもしれません。小学生・中学生のそういった環境を是非順番にやっていただきたいと思います。これは教育環境を整えるというだけでなく、先生方の労働環境の改善にも繋がります。是非宜しくお願いします。

石邊委員

同じエアコンの件ですが、オーバースペックにならないようにという話でしたが、入札するとどうしても安いものになって、オーバースペックどころかアンダースペックになる可能性があります。結局エアコンが効かなくなって、途中でエアカーテンをつける必要が出てきたケースを聞いたことがあります。ですからスペックの高いものを入れていた方が結局は長持ちすると思います。長い目で見て欲しいと思います。

遠田町長

エアコンの話ですが、電気代などのランニングコストも考えていかないといけないと思います。どういうやり方がいいのかということを考えていきたいです。

森田教育長

是非実現をしていただきたいです。

井上委員長

私も同じ意見です。私は現場が長かったもので、体感で変化を感じております。人数が多いクラスですと、教室の中の体感温度が40度を超えます。子ども達の勉強している横顔をみると汗がポタポタと落ちる状態です。これから夏休みが短縮される方向になっていくかと思えます。他市町村ではサマースクールといって夏休みの間に子どもを学校へ5日くらいだして、指導するということが行われています。そうなった時にはエアコンなしでは難しいと思えます。

崎平係長

他に何かご質問・ご意見等がございませんか。

尾形委員

私は物理的な環境の整備については皆さまがおっしゃったところに同感するのですが、子どもやお年寄りもそうですが、居場所がない人に色んな問題が起きていくと思えます。生涯学習の視点の中で居場所作り、居場所をつくれる人づくりというようなものをしていただくとありがたいなと思えます。それは最初のほうの「学校・家庭・地域の連携の推進」というところにも結びつくと思えます。この事業をやります、こういう教室をやりますだと結局参加するのは一部の限られた人だけになって、どうしてもどこにも所属できない人が、何気なく身を寄せられる場があるのかなと思えます。地域の中に力を持っている団塊世代の人達が、沢山おられるので、そういう方たちに力を発揮していただくにはどうしたらよいのかなと考えています。そういう視点でも是非検討していただけたらと思えます。

遠田町長

居場所について具体的にこういう所はということがあればお願いします。

尾形委員

全国的に色んな居場所づくりをみると、古民家みたいなところを利用して地域の方たちが組織して居場所を作った例もあります。昔先生をやっていた方が、地域で算数を教えるなど出来ればいいなと思えます。大学では、学生達が土曜日に小学校に行って算数とかを教える事業があるんですが、それだと一過性になってしまい、日頃困っているときに相談してみるといった関係性を築くことは難しいようです。地域に受け皿となる居場所がないなと感じています。

石邊委員

先ほど生涯学習の視点といわれていましたので、生涯学習の話をすると体育館等を作るときに必ずいわれる言葉があって、それは地域への開放という言葉です。実際は管理の問題があって、学校の体育館を管理するのは校長先生なので、大変だろうと思います。

尾形委員

その時に生涯学習で人を育てていないと、場所だけあっても空洞になると思います。ですから学校教育と生涯学習は連動した形があれば良いと思っています。

遠田町長

私は荻田小学校の前に住んでいるのですが、放課後は正門に鍵をかけています。校長先生にお尋ねしたところ、開放していた頃に煙草の吸殻が落ちていたらしく、やはり防火上や防犯上の関係で締めるようにしたそうです。地域への開放と言う命題はあるのですが、管理する側からすると様々な問題もあるんだと思いました。

崎平係長

その他に委員の皆様方、ご意見ご質問等がございましたらお願い致します。

井上委員長

先ほど町長から、教職員の若年化についてお話がありましたが、5、6年前から大量退職の時代に入りまして、若い先生方が一気に増えました。40代、50代といった中堅になる先生方が非常に少ないといった問題があります。若い先生が5年たてば学年主任をしなければならないような学校が多い気がします。まだ5年ということは指導技術も力量も育っていない中で、学年を回していくというのは大変なことだろうと思います。その課題をどうクリアしていくのかということを見ると町独自でキャリア年数に応じた研修を組み立てていたり、学校独自の研修を工夫したり、豊かな力量を持った退職教員を町独自で雇用し、各学校に配置し、若い先生達の指導にあたってもらうことが効果的になるのではないかと思います。宜しければそういう所に予算をつけていただきたいと思っています。

石邊委員

全国的にも教職員数が足りない、充足率が足りない、教職員のレベルが低下していると言われていています。それで定年退職された先生方を再雇用してその指導にあてようという動きがあります。荻田町の場合、充足率がどうかはわかりませんが、美術などの教科によっては複数の学校を持つようなこともあるようです。それで、質問がありまして、一つは先生方の充足率はどうなっているのですか。

もう一つは教員を町独自で採用しておりますが、本来であれば正規の職員を入れるべ

きだと思っております。町雇用は1年契約ですから、生活の安定がないので、意欲やスキルアップが難しいと思います。退職された先生を町雇用で採用することはいいとは思いますが、若い先生は町雇用だと、将来が不安だと思います。町雇用は若い先生を育てるバックアップをする退職教員が良いと思います。

森田教育長

小学校の場合は、教員に占める常勤講師の割合は22～23%です。本来であれば正規職員で埋めなければいけないところを講師で対応しているという状況にあります。数としては、小学校で27人くらいで、中学校では12人くらいです。講師もなかなか雇えないというのが実態です。県から配当がなければ、他の先生方でカバーしあうという状況が生じています。

遠田町長

今は講師を含めて定数に対して足りていないということですか。

森田教育長

今は数的には間に合っておりますけれども、例えば産休で代わりが必要なときにはすぐに代わりの講師が来ないという現状があります。

尾形委員

「確かな学力とたくましい心身の育成」という点で、学校教育の方でも特別支援に入っていくお子さんは増えていると思うんですが、苧田町は保健分野と教育分野の連携があまり上手く取れていないように見受けられます。乳幼児健診の受診率はほぼ100%なんですが、3歳児検診になると6割くらいしか掴めなくなっています。そして学校教育に入る手前の就学時健診でかなり問題が見えてきます。幼稚園と保育園の巡回相談はどのような子どもがどういう状況なのかを観察するにとどまっているので、トレーニングにはならないんです。ですから3歳までにトレーニングをどうすべきかという目処をつけて、6歳まで放置しないということにしないと、学校教育に入った時に先生方がとても大変で教育に集中ができないと思います。発達に問題を抱える子が6人～7人に1人いると言われていています。30人のクラスでは5人いる計算になります。他市町村では訓練を入れているところもあるんですが、苧田町は巡回相談にとどまっているんです。縦割りのところをワーキンググループでも作って、どう解決していけば良いのかを話し合う場所がいます。

石邊委員

3年間のブランクは問題だと思います。成人検診も5年毎や40、50と言った節目の検診になりますが、飛びすぎなんですよね。まして、子どもの場合3年は飛びすぎだ

と思いますので、そこらへんも考えていただきたいと思います。

崎平係長

この他、何かご意見ご質問等ございますか。

石邊委員

これからは英語というのは、生活に密着した実用の道具として教えて欲しいということとをずっと言っております。色々なところで予算をカットされてきたので、ご配慮をお願いしたいと思います。

崎平係長

町の今後の施策にいかせるような貴重な意見交換がなされたかと思えます。それでは30年度の予算編成方針については協議・調整ができたということで宜しいでしょうか。それでは(3)その他についてです。他に本日の協議・調整事項以外に何かご質問・ご意見等ございますか。

◇閉会

崎平係長

ないようでしたら、以上をもちまして第1回総合教育会議を終了いたします。本日はどうもありがとうございました。

一同

ありがとうございました。